



## バス事故防止のための動画の制作等を行いました



令和6年4月

## バス事故防止対策検討ワーキンググループ



# バス事故防止対策検討ワーキンググループ参画事業者



小田急バス(株)



東京都交通局



関東バス(株)



東急バス(株)



京王電鉄バス(株)



横浜市交通局



神奈川中央交通(株)



国際興業(株)



東武バス(株)



西武バス(株)



京浜急行バス(株)



川崎鶴見臨港バス(株)



京成バス(株)



千葉中央バス(株)



京王電鉄(株)

バス事故防止対策検討ワーキンググループとは、関東運輸局と関東地区バス保安対策協議会が  
合同で設置した会議体で、関東地区15のバス事業者が参画し、事故防止対策を検討しています。 ※画像は各社webから引用

## 1. 乗合バス車内事故防止のための啓発動画を制作しました

(1) 乗客向けの動画

(2) 一般ドライバー向けの動画

(3) バス運転者向けの動画

## 2. 乗合バスの添乗調査を実施しました

【参考】乗合バスの車内事故発生状況

## 3. 貸切バス運転者に対する実技指導の動画を制作しました

## (1) 乗客向けの動画

国土交通省では、「乗合バスの車内事故防止対策ワーキンググループ」において、有識者からのご意見をいただきながら、車内人身事故の件数の削減に資する対策について検討しています。今般、その対策の一環として、車内人身事故を防止するため、乗客の皆様にご覧いただきたいこと等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。本動画につきましては、今後、乗客の皆様へ安全な乗車をしていただけるように啓発を行って参りますが、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、ご覧になっていただき、更なる安全な乗車をお願いいたします。

### ○主なポイント

- 車内での人身事故が多く発生おり、そのうち70歳以上の高齢者の方が、発車時・停止時の転倒事故が多く発生しています
- バスに乗ったら、「座りましょう！」「つかまりましょう！」
- 走行している時は、「座ったまま！」「つかまったまま！」
- 降りるときは、扉が開くまで「座ったまま！」「つかまったまま！」

国土交通省ホームページ「乗合バス車内事故防止のための啓発動画」リンク先  
[https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000161.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html)



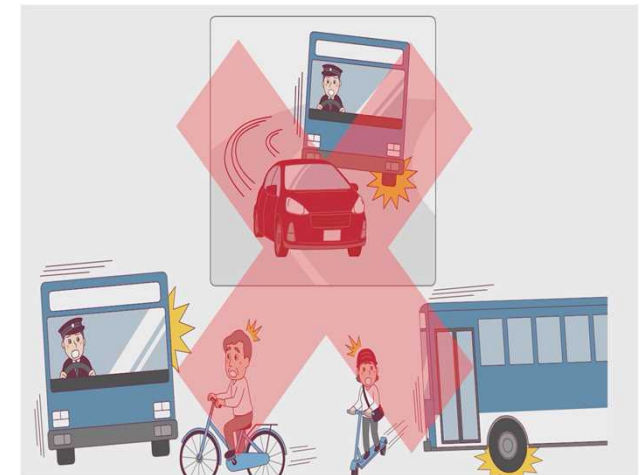
## (2) 一般ドライバー向けの動画

国土交通省では、「乗合バスの車内事故防止対策ワーキンググループ」において、有識者からのご意見をいただきながら、車内人身事故の件数の削減に資する対策について検討しています。今般、その対策の一環として、車内人身事故を防止するため、一般ドライバーの皆様にご気づいていただきたいこと等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。本動画につきましては、今後、車や自転車を運転される方へ自身の運転する車が影響を与える運転について啓発を行って参りますが、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、ご覧になっていただき、更なる安全運転をお願いいたします。

### ○主なポイント

- バスの前に割り込むと、バスが急ブレーキをかけ、車内では乗客の転倒事故が発生しやすくなります
- バスは、高齢者の方の利用が多い乗り物のため、転倒すると骨折など重大な事故に繋がることがあります
- バスは、死角が多い乗り物のため、十分な車間距離と安全を確認してください

国土交通省ホームページ「乗合バス車内事故防止のための啓発動画」リンク先  
[https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000161.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html)



## (3) バス運転者向けの動画

国土交通省では、「乗合バスの車内事故防止対策ワーキンググループ」において、有識者からのご意見をいただきながら、車内人身事故の件数の削減に資する対策について検討しています。今般、その対策の一環として、車内人身事故を防止するため、運転者に気をつけていただきたいこと等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。本動画につきましては、今後、乗合バス事業者等へバス運転者に知ってほしい車内転倒事故の危険性等を周知して参りますが、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、ご覧になっていただき、更なる安全運転をお願いいたします。

### ○主なポイント

- 車内事故が最も多く発生する場面について考える
- 停車時・発進時・走行中の安全確認を再確認
- 発車時は、着座の確認、つり革・手すりにつかまっているか確認
- 走行中は、急のつく操作は行わない

国土交通省ホームページ「乗合バス車内事故防止のための啓発動画」リンク先  
[https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk2\\_000161.html](https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000161.html)



## 2.乗合バスの添乗調査実施結果（1/2）

バス事故防止対策検討ワーキンググループでは、安全運転に関する実態把握のため以下のとおり、実際の路線バスに乗車して調査を行いました。

【実施期間】 令和5年10月～令和6年2月

【調査対象】 自動車事故報告書を分析し、車内事故が多い事業者運行する路線バス

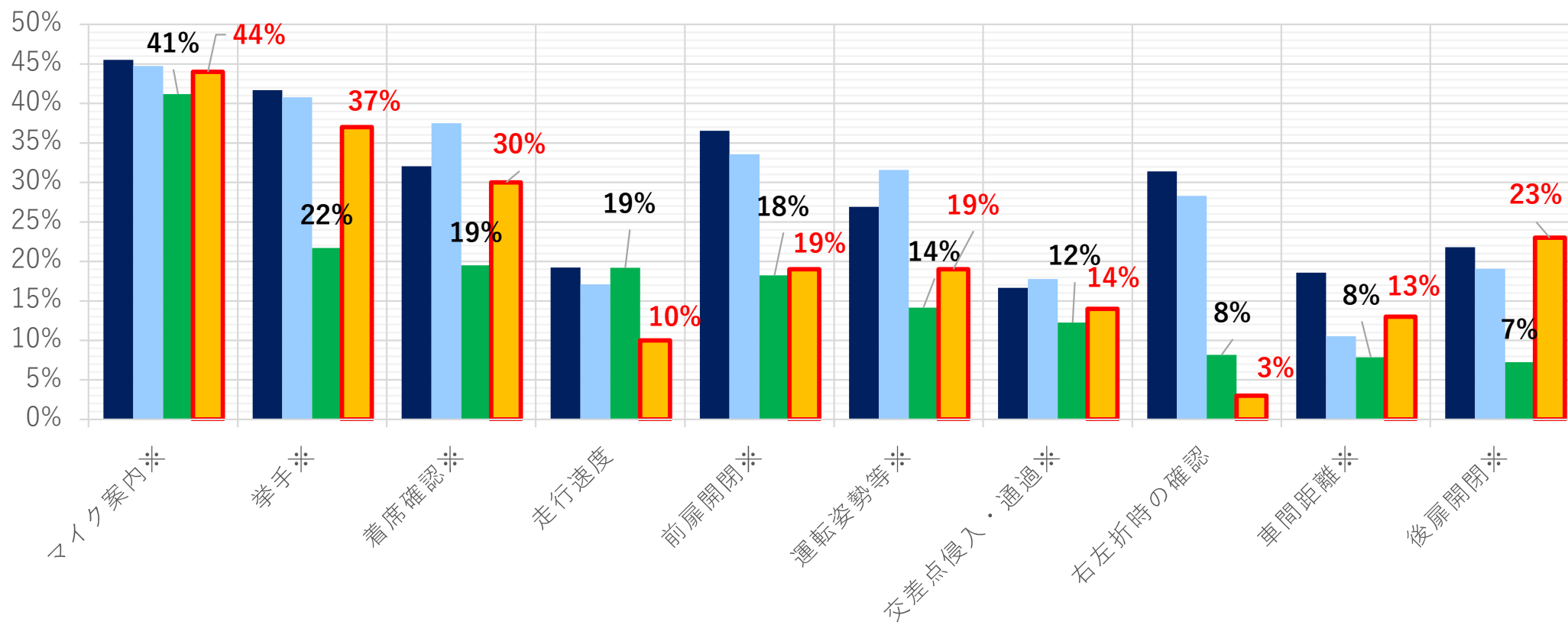
【総添乗数】 79回

調査項目	内容
マイク案内	乗車時、走行中、降車時の案内方法等
着席確認	着席前発進、つり革確認等
前扉、後扉の開閉	見切り操作、乗客の確認方法等
走行速度	制限速度超過等
右左折時の確認	歩行者妨害の有無等
交差点の進入・通過	進入速度、無理な黄色信号進入等
車間距離	社内規定の励行状況等
拳手	社内規定で禁止の場合
運転姿勢等	片手運転等

※参考資料

・国土交通省ホームページ「乗合バスの車内事故を防止するための安全対策実施マニュアル」  
平成23年6月 国土交通省自動車交通局、自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会  
[https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03analysis/resource/data/h22\\_2\\_1.pdf](https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03analysis/resource/data/h22_2_1.pdf)

### 全実施件数に対する要改善の確認件数割合の比較



■ 令和2年度 ■ 令和3年度 ■ 令和4年度 ■ 令和5年度

※令和2年度より、右左折時の確認が「巻き込み側に偏っている」場合は、要改善の確認件数に含めています。

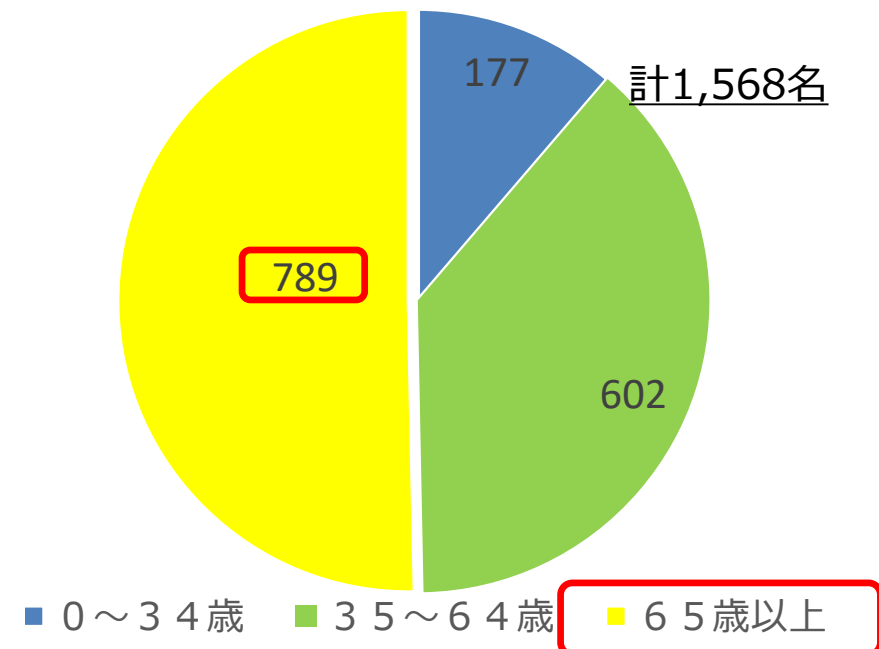
・マイク案内、拳手、着席確認、扉開閉に関する要改善の確認件数割合が多い状況となっている。



- ・関東運輸局管内の乗合バスの車内事故は、令和4年に前年より減少したが一昨年までと同等水準となっている。
- ・車内事故による年齢別負傷者は、平成30年から令和4年までの5年間で1,568名。
- ・そのうち65歳以上は789名で、約半数を占めている。

年	人身事故件数		車内事故件数	
	関東	全国	関東	全国
平成30年	380	1,141	76	352
令和元年	383	1,040	85	318
令和2年	341	813	87	265
令和3年	328	780	107	303
令和4年	363	803	86	246
合計	1,795	4,577	441	1,484

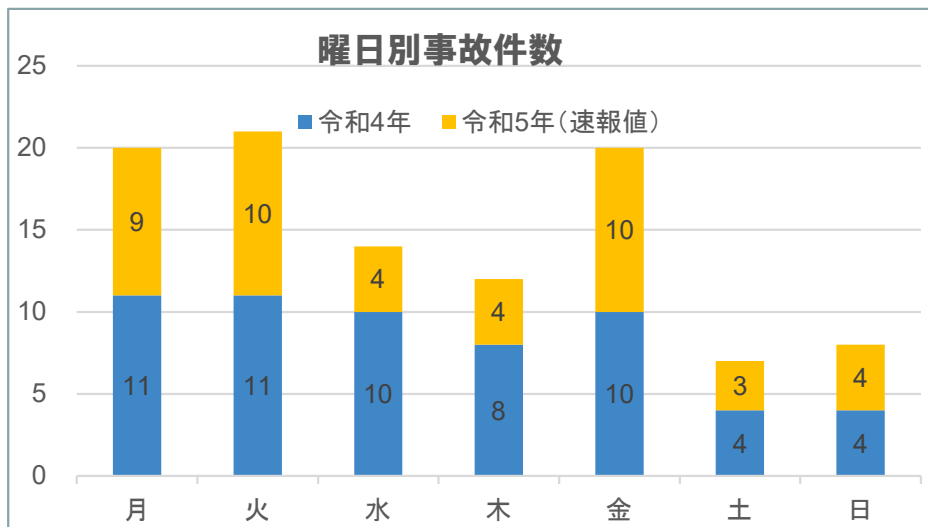
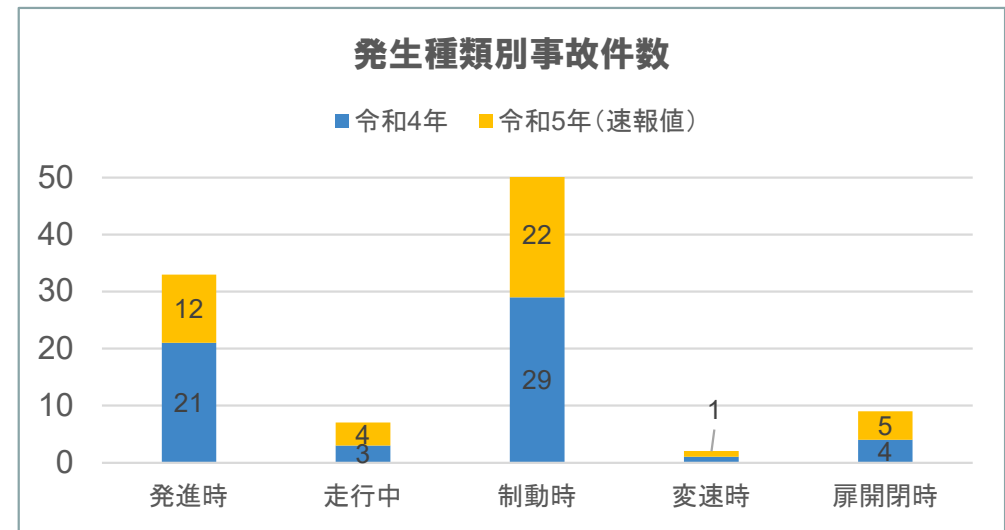
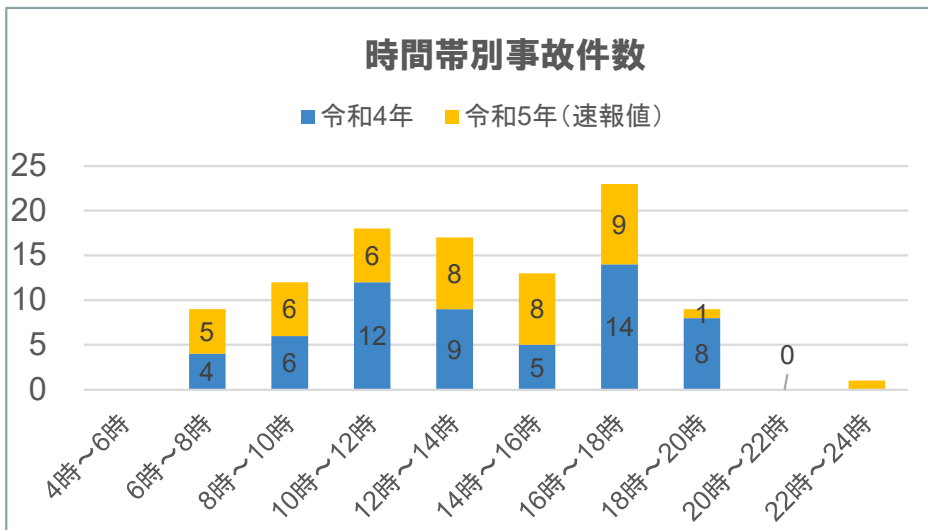
車内事故による年齢別負傷者数（全国）  
（2018-2022年）



※出典：（公財）交通事故総合分析センター

関東運輸局管内の乗合バスの車内事故(令和4年58件と令和5年44件(速報値))の\*事故報告書の分析

- ・時間帯別：16時～18時に最も多く発生し、次いで10時～12時が多くなっている。
- ・曜日別：平日に多く、土日は少ない傾向。
- ・発生種類別：制動時に最も多く発生し、次いで発進時となっている。



※資料：事故報告規則に基づく、自動車事故報告書より  
関東運輸局とりまとめ

## 一般道・夜間走行における実技指導の例

一般道・夜間走行における、大型の貸切バスを運転する際の指導方法等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。  
本動画につきましては、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、貸切バス事業者等の皆様は運転者指導にご活用ください。

### ○主なポイント

- 出発前に、事故の危険性が高い箇所を把握し、適切な運転操作を運転者に指導する
- 自転車・歩行者等の動きに注意する
- 停車中も適宜後方の安全確認する
- 左折する際は、内輪差による巻き込み及びリヤオーバーハングに注意する
- 交差点右折時には、対向車の二輪車や横断歩道上の自転車・歩行者に注意する
- 夜間走行は日中と見え方が違うので自転車・歩行者・特に二輪車に注意する

国土交通省YouTubeチャンネル「貸切バスの実技指導の例」リンク先

<https://www.youtube.com/watch?v=4uVEFeARSBA>



## 首都高速走行時における実技指導の例

首都高速走行時における、大型の貸切バスを運転する際の指導方法等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。  
本動画につきましては、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、貸切バス事業者等の皆様は運転者指導にご活用ください。

### ○主なポイント

- 首都高速は、料金所の幅が狭く車両との間隔が少ないため、車幅に注意する
- 加速車線が短いところが多いため、本線車両の動きに注意しながら適切なタイミングで合流する
- 首都高速のJCTでは、お互いの車両が複雑な動きをするため、前後左右の車両の動きに注意して合流する
- 首都高速は、カーブの先が見えない箇所が多く、突然渋滞していることもあるため、手前でしっかりと減速する
- 首都高速では、JTCや出入口の位置が左右にあるため、事前に予習する

国土交通省YouTubeチャンネル「貸切バスの実技指導の例」リンク先  
<https://www.youtube.com/watch?v=4uVEFeARSBA>



## 高速道路走行時における実技指導の例

高速道路行時における、大型の貸切バスを運転する際の指導方法等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。

本動画につきましては、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、貸切バス事業者等の皆様は運転者指導にご活用ください。

### ○主なポイント

- ETCレーン通過時には、前後左右の車両の動きに注意する
- ETCレーンでは、不具合等によりバーが開かない場合もあるため、時速20km以下の速度で通過する
- 下り坂は、速度超過に繋がりがやすいため、排気ブレーキを適切に使用し、一定の速度を保って走行する
- 合流地点では譲りあいを心掛ける
- 速度に応じた適切な車間距離を保って走行する
- サービスエリア内では、左からの車両や歩行者に注意する

国土交通省YouTubeチャンネル「貸切バスの実技指導の例」リンク先  
<https://www.youtube.com/watch?v=4uVEFeARSBA>



## 上り坂走行時における実技指導の例

上り坂走行時における、大型の貸切バスを運転する際の指導方法等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。

本動画につきましては、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、貸切バス事業者等の皆様は運転者指導にご活用ください。

### ○主なポイント

- 勾配が変わらない場合は、一定のギヤを保持して走行し、下り坂で同じギヤを使用するためギヤを覚えておく
- 見通しの悪いカーブでは、対向車等の危険予測を行い、注意して走行する
- 道幅が狭く、やむを得ずセンターラインを超える場合は、速度を控え対向車の妨げにならないよう注意する

国土交通省YouTubeチャンネル「貸切バスの実技指導の例」リンク先

<https://www.youtube.com/watch?v=4uVEFeARSBA>



## 下り坂走行時における実技指導の例

下り坂走行時における、大型の貸切バスを運転する際の指導方法等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。

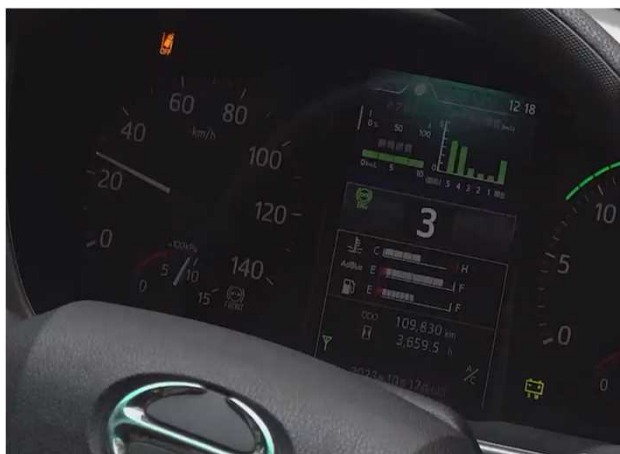
本動画につきましては、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、貸切バス事業者等の皆様は運転者指導にご活用ください。

### ○主なポイント

- 排気ブレーキ及びリターダを使用し、フットブレーキを踏み過ぎないように注意する
- 乗客がいる場合は、その重量が加わることでブレーキが効きづらくなるため注意する
- 過回転に注意し、さらに加速するような場合にはフットブレーキを使用する
- フットブレーキを使用する際には、ブレーキの過熱に注意する
- エンジンの回転数が合っていないとギヤが入らないことがあるため注意する
- カーブ手前で減速し、なるべく外側を走行する
- 上りと同じギヤもしくは一段低いギヤを使用し、上りよりも高いギヤは使用しない

国土交通省YouTubeチャンネル「貸切バスの実技指導の例」リンク先

<https://www.youtube.com/watch?v=4uVEFeARSBA>



## バス車両の特性をふまえた実技指導の例

バス車両の特性をふまえた、大型の貸切バスを運転する際の指導方法等を取りまとめた動画を国土交通本省と連携して制作しました。

本動画につきましては、国土交通省のホームページに掲載しておりますので、貸切バス事業者等の皆様は運転者指導にご活用ください。

### ○主なポイント

- 車両の死角を理解する
- 発車時は、アンダーミラーにより、バス前方の安全確認を忘れずに
- バックアイカメラの特性を理解する
- 運転する車両の内輪差とオーバーハングをしっかり把握する
- 速度に合ったギヤを選択する

国土交通省YouTubeチャンネル「貸切バスの実技指導の例」リンク先  
<https://www.youtube.com/watch?v=4uVEFeARSBA>

